

平成 30 年度「アジア安全衛生 SAKURA プロジェクト」 実施報告

「アジア安全衛生 SAKURA プロジェクト」(補助事業)は、日本で日系企業の現地従業員に現地語で労働災害防止のためのノウハウや経験を伝える「国内における研修」と、日本から専門家を派遣して参加者の海外拠点で安全診断等を行う「海外における助言・指導」を組み合わせ実施するものである。

3 年目となる本年度は、タイの日系企業の安全衛生担当者を主な対象とし、現地語(タイ語)によりプロジェクトを実施した。昨年 11 月に日本国内における研修を 6 日間実施し、本年 1 月～2 月にタイ(バンコク・チェンマイ)において「海外における助言・指導」を実施したので以下のとおり報告する。

I 「国内における研修」の実施について

1. 実施日程：平成 30 年 11 月 12 日(月)～17 日(土)(6 日間)



2. 参加企業数：タイにおける日系企業 15 社より合計 20 名が参加

3. カリキュラム

	研修内容
第 1 日	開講挨拶、オリエンテーション
	【講義】日本の安全衛生活動の取組み(JISHA-ISO・MS 審査センター 高岡専門役)
	【演習】ゼロ災運動と KYT(教育推進部 笹尾専門役)
第 2 日	【演習】ゼロ災運動と KYT(教育推進部 笹尾専門役)
第 3 日	【演習】ゼロ災運動と KYT(教育推進部 笹尾専門役)
	現場視察(白洋舎(株)東京工場)
第 4 日	【講義】日本の OSHMS(技術支援部 野口課長・山岸専門役補佐)
	【演習】OSHMS の現状把握(技術支援部 野口課長・山岸専門役補佐)
第 5 日	【講義・演習】リスクアセスメント(技術支援部 野口課長・山岸専門役補佐)
	レポート発表、今後の取組みについて、閉講挨拶、修了証授与
第 6 日	日本文化体験(都内下町ツアーの実施)

II 「海外における助言・指導」の実施について

1. 実施日程

- ① 平成31年1月27日(日)～2月2日(土)
- ② 平成31年2月25日(月)～3月1日(金)



2. 担当管理士等

- ① 技術支援部 山岸専門役補佐、国際センター 住課長
- ② 教育推進部 笹尾専門役、技術支援部 川島専門役

3. 実施概況

生産現場を持つ参加事業場14社を2チーム(各2名)で分担し、各事業場を2時間程度かけて「海外における助言・指導」を実施した。具体的には、本社担当者、安全衛生担当者、研修参加者らと現場を巡回し、危険箇所等についてその対策を助言・指導した。なお、詳細については、後日診断実施報告書にとりまとめて事業場に提出することとしている。

III プロジェクトの総括

本プロジェクトへの事業場の参加動機は、安全衛生活動のさらなる充実や安全担当者のレベルアップなど様々であったが、申込窓口となる日系本社並びに現地企業の安全衛生意識は高く、安全衛生活動にも積極的に取り組んでいる事業場が多かった。

プロジェクト前半の国内研修では、参加者は日本の安全衛生活動に関する知識の習得に非常に熱心であった。後半の現場訪問では、参加者が安全衛生の担当者として積極的に安全衛生活動を推進し活躍している場面が多く見られた。また現地のトップの日本人が率先垂範して安全衛生活動に取り組み、またトップ自らが現地の従業員と積極的にコミュニケーションをとっている様子も見られ、日本人トップの安全衛生意識や安全スタッフ等との関わり方が重要であることを再認識させられた。一方、日本で使用されていた古い機械設備を海外に移転し生産活動を行っている事業場もあり、安全対策が十分にとれていない設備も散見された。設備面での改善が一部の事業場では課題となっていた。

参加事業場からの感想としては、「プロジェクトを通じて多くを学ぶことが出来た」、「研修が現地語で実施されたため理解が進んだ」、「日本で勉強できたことが参加者の大きな自信やモチベーションの向上につながった」などの声があった。

31年度はベトナム(ホーチミン・ハノイ)をプロジェクト対象国として計画している。現地の日本商工会議所等を通じ、多くの日系企業に参加を勧奨する予定である。

以上